

【NEWS RELEASE】

2021年2月1日

各位

株式会社三井住友銀行

公立大学法人大阪との包括連携協定締結について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）は、公立大学法人大阪（理事長：西澤 良記）と、2022年4月開学予定の大阪公立大学（仮称・設置認可申請中。以下「新大学」）開学時における資金管理業務、産学連携業務、都市シンクタンク・技術インキュベーション機能等に係る連携と協働に関する包括連携協定を締結いたしました。

・背景

本協定は、大阪の都市課題の解決や産業力の強化など、大阪の発展を目指す公立大学法人大阪と、「大阪」という地域への貢献を掲げる三井住友銀行が「共創」することで、大阪から全国、そして世界へとその取組を広く発信するため、連携・協力することを目的とします。

三井住友銀行では、2025年の大阪・関西万博を契機として、大阪・関西がSDGs（※1）先進地域となるべく、また万博が目指すSociety5.0（※2）の実現に向けた活動の中で、公立大学法人大阪をはじめ、産学連携への取組もより一層強化してまいります。

・本協定について

三井住友銀行は、公立大学法人大阪の目指す大阪の発展をけん引する「知の拠点」の実現を支援し、ともに社会課題の解決に貢献すべく、2021年2月1日に包括連携協定書を締結いたしました。以下の業務について相互に連携し、協力を行います。

1. 資金管理業務

新大学開学時の主取引金融機関を三井住友銀行とし、出納、現金および関連業務を委託する。

2. 産学連携に関する業務

3. 学生支援に関する業務

4. 地域貢献に関する業務

5. 新大学基本構想に基づく、4つの戦略領域（※3）に関する業務

6. その他、相互に連携協力を行う事が必要と認められる業務

以上

<ご参考>

※1 SDGs とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

※2 Society 5.0 とは

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。

狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもの。

※3 4つの戦略領域とは

新大学基本構想の中の「スマートシティ」「パブリックヘルス/スマートエイジング」「バイオエンジニアリング」「データマネジメント」の4つの戦略領域をいいます。